

令和6年8月9日 佐藤

～ 40年の節目を迎える産業PRの取組みを、子どもたちの目線で体験しました！ ～

子どもPR大使が、区の産業を紹介する「すみだ3M運動」を体験取材

8月7日（水）に、すみだ子どもPR大使3名が、区の産業PRとイメージアップ、地域の活性化をめざし、1985年にスタートしてから今年40年目の節目を迎える「すみだ3M運動」について、工場や工房での作業体験を通して、すみだのものづくりについて発信する取材を行いました。

今回取材に訪れたのは、屏風の製作を行う「片岡屏風店」（墨田区向島 1-31-6）、革小物や鞆の製造を行う「HIS-FACTORY」（墨田区吾妻橋 1-16-5）、提灯や木札などへの江戸文字の名入れを行う「アトリエ創藝館」（墨田区横川 3-8-2）の3か所。普段の取材とは異なり、今回は1人が1か所を担当して訪れるという緊張感のある取材となりました。

最初の取材は、都内で唯一の屏風専門店である片岡屏風店へ。4面の画を楽しむことができる「からくり屏風づくり」を体験。板と和紙を組み合わせ、職人に教わりながら作り上げます。「1枚の屏風をつくるために、たくさんの職人が関わっていることが分かった」と感想を話していました。

次に訪れたのは、HIS-FACTORY。オリジナルのレザーストラップづくりを体験。木のハンマーを使って、模様や刻印を打ち込んだり、革を折りたたんで糸で縫うなど、機械を使うことなく、本物の職人と同じような作業をして、子どもPR大使もとても楽しんでいる様子が印象的でした。

最後に訪れたのは、アトリエ創藝館。提灯に江戸文字や絵を描く作業を体験。江戸文字には相撲文字や歌舞伎文字、寄席文字があり、中でも相撲文字は、紙いっぱい隙間なく文字が埋まり、それは「客席がいっぱいに埋まる」ことを願っているという豆知識も学びました。参加した子どもPR大使は「一つ一つが丁寧に作られていて、とてもきれい。いろいろな人に見てもらいたい。」と話していました。

いずれの取材もPR大使たちにとって、なかなか体験できない夏休みの貴重な経験となりました。

なお、今回の取材に加えて、8月21日（水）には、江戸切子の製造を行う「すみだ江戸切子館」（墨田区太平 2-10-9）への体験取材を敢行予定です。活動の様子は区公式SNSで発信する予定です。

〈写真〉

体験の様子

区公式 Facebook: https://m.facebook.com/story.php?story_fbid=pfbid02PqpcXAcsvhtFstGdkAYDQMrG9MNUk7eDlStP4FddXq45rWVnYr38H84GZRBUX&id=10006425685577



〈概要〉すみだ3M運動 (https://www.city.sumida.lg.jp/sangyo_jigyosya/sangyo/pr_brand_hyousyo/sumida3m/index.html)

昭和60年にスタートした、区の産業PRとイメージアップ、地域活性化を図る事業。

「小さな博物館」（Museum）、工房と店舗の機能を備え、製造と販売が一体化した「工房ショップ」（Manufacturing shop）、付加価値の高い製品を創る技術者「マイスター」（Meister）の3つの頭文字をとって「3M（スリーエム）運動」と呼ぶ。これらを有機的につなぎ、すみだの優れた産業と生産品が正当な評価、より高い評価を受けることをめざし、ものづくりの素晴らしさや大切さをアピールする。

〈概要〉すみだ子どもPR大使 (<https://www.city.sumida.lg.jp/kuseijoho/kouhoukatudou/kodomo-pr-taisi/gaiyou.html>)

すみだの魅力幅広く発信する特命大使で、毎年4月に実施するワークショップの修了後に、区長から任命され、1年間、区のイベントなど、区の魅力のPRにつながる活動を行う。

対象：区内在住の小学3～6年生（令和6年度任期：令和7年3月末まで）

人数：21名（6期生：11名、7期生：10名）

〈問合せ〉企画経営室 広報広聴担当 03-5608-6220

お問い合わせは午後5時までにお願いします。